

もいのにぎわい通信

2010年9月26日 定例活動報告

日時：2010年9月26日（日）9：00～15：30

場所：小山町 観音地と水辺の郷公園（ホタル水路と下池）

天候：曇 気温 20～24℃ 湿度 46% 風向風速 南東 6m

参加者：参加者 42人 ：子供人 13人、大人 29人（観察指導員 2人、地元小山町と土地改良区 8人含）

活動記録

09:00 地元の方集合 刈り払い機を使って作業開始

10:00 親子受付、諸注意

10:20 2班に分かれて 観察開始

1班 観察指導員の武田さん 2班 観察指導員の山下さん

道具の持ち方・使い方（捕中網・虫かごなど）

どんな虫がいるか 捕まえて観察をする。

集合写真撮影

11:40 昼食・休憩

12:40 集合・出発 水辺の郷へ

道々の観察

13:00 水辺の郷着 WC

13:10 ホタルの流れ 下池

ザリガニつりをする。

14:30 集合・出発 観音地へ

15:00 解散

活動報告

異常とも思える暑い暑い夏にも終わりが来たようです。急に寒くなって体がついて行きにくいほどの温度変化です。昨日の台風のおかげで順延となりましたが、まぶしいほどの秋晴れとなりました。

地元の方々は9:00前から刈払機を使って除草作業にとりかかっていたいただきました。一番暑い8月は定例会をスキップしたのと、こここのところの雨で雑草が伸び切っています。刈払機という文明の利器がなければ手に負えないだろうと思います。どんどん綺麗になっていくと苗木も見えるようになりほっとしました。

今回は自然観察指導員の武田さん・山下さんにも来ていただいたの自然観察会です。午前中テーマは「観音地の草むらにいる虫と仲良しになろう」で、2班に分かれ観音地の草むらに子供たちが走り、虫たちが飛び立ち、元気な声が響き渡りました。どの子も虫を捕まえるのに必死、皆が一匹以上手にいれないうちは解説になりません。ようやく落ち着いた子供たちに捕まえてきた虫を見本に解説を加

えます。「バッタとキリギリスの違いは・・・・・・・・・・」 「雄と雌の区別は・・・・・・・・」 「耳はどこにあるのかな・・・・・・・・」 などなど丁寧に解説していきます。子供達も逃げられないように気をつけながら、うち羽をそっと拵げて模様の確認なんていう難しい作業をやっていました。(トノサマバッタとクルマバッタの違いは、うち羽の模様だそうです。クルマバッタはうち羽を拵げると車輪状の模様が見えます)

観音地で見つけた昆虫は

バッタ類	トノサマバッタ、クルマバッタ、オンブバッタ、ショウリョウバッタ、ツチイナゴ
キリギリス類	コオロギ、ツユ虫
トンボ類	ノシメトンボ
チョウ類	キチョウ

でした。

お昼を食べた後、午後のテーマは「ホタルの敵 アメリカザリガニを退治しよう」です。観音地をアザミ谷津の方に降りて小山町の田んぼに出るとたくさんのトンボが乱舞しています。オニヤンマとナツアカネを捕まえて比較することができました。オニヤンマの大きさには大人たちもびっくりです。上には見られなかったシオカラトンボがたくさんいて、上と下ではやはり生態系が違うのだというのが実感できました。

小山町を通り抜け水辺の郷公園に入りました。公園内には、ホタルを育てるために設けられた水路があります。水がきれいなためカワニナが育ちホタルが育つわけですが、そこにアメリカザリガニも繁殖してしまってホタルの幼虫も被害を受けているということです。退治と張り切ってみたのですが、あまりザリガニがいません。気温のせいかな時間帯のせいかな、あの赤い姿がほとんどみつきりません。それでも子供達もお父さん・お母さんも頑張ったので 20 匹以上は釣り上げたでしょうか。特に石坂パパは、大きなザリガニを釣りあげたり、樹木と雑草で道など見えない反対岸までたどりつける道を切り開いたりで大活躍でした。ザリガニだけでなく蜘蛛のパフォーマンスはなかなかでした。水路にかかる蜘蛛の巣から女郎蜘蛛を捕まえ、お腹のイボから糸をださせ引っ張って見せてくれました。手をぐるぐる回せば、まるで綿飴を作っているようですし、伸ばせば3mほどは伸びたでしょうか。ということで石坂パパは子供達のヒーローでした。

帰り道は、指導員の方に真っ赤な彼岸花のネックレス・ブレスレットの作り方を教えてもらったり、エビヅルを教えてもらって食べたりで、また長引いてしまいました。観音地に戻った時には今までの植樹を記念する標柱4本が、小高理事長、星野さんや古木さん達の御苦勞で既に建てられていました。書道の先生をしている津野さんの立派な文字で書いてもらい、この森の復元活動もより立派に見えます。次回は子供達も含めて雑草取りをして、バーベキューを行います。奮ってご参加ください。

(記録 金井章男)

森もりあそび隊

虫捕り

前日の台風が去って26日は、清々しい秋晴れの日になりました。

今回は、自然観察指導員の武田さん、山下さんに来て頂きました。

2班に分かれて、私たちの班は、まず網でバッタを捕まえました。親も

久しぶりの虫捕りに参加しました。

そのバッタを指導員の方が籠から出して、手で羽根の下の薄い羽根を広げて、バッタの見分け方を教えて下さいました。

トノサマバッタ、クルマバッタモドキ、コオロギ、オンブバッタ

多くのバッタを捕まえられました。子どもたちは、もっと捕まえたいようでした。名前を知ることにより、バッタに親しみを感じて、自然を大切にしたいという心が育まれればいいですね。

次は、場所を移動して、トンボやチョウを捕まえました。だんだん子ども達もコツをつかみ、うまくなりました。そして名前や生態を指導員の方から学びました。

ザリガニ釣り

午後からは、水辺の郷公園のホタル水路にある下池でアメリカザリガニを釣りました。竹に糸を付けて、さきいかの餌を結んで竿を池に一人ずつ下ろしました。週の始めには、たくさんいたザリガニも前日の台風のせい、気温が下がったせいか池を見るかぎりでは、少ないようでした。それでも腕のいい子？やお父さんは、ねらったザリガニを釣り上げていきました。みんなもザリガニを釣りあげると大喜び！！

でも、自分でも釣りあげたいと一生懸命、ねらいを定めて夢中になりました。アメリカザリガニが20匹以上釣れました。指導員の方がザリガニクイズを行ってくれて知識を深めることもできました。

帰りの道もお父さんたちの共同作業のお陰で木の実を食べられたり、指導員の方に彼岸花の首飾りの作り方を教わったりして、秋の自然を満喫しました。

(記録 大沼 尚美)

□お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

- ・10月23日(土)雨天の場合は24日(日)

次回の活動日は、子供も参加して草刈作業と昼食はバーベキューを予定しています。

また、森林学会発表記念報告や参加者の中から子供時代の自然体験や自然の中で遊んだ思い出など聞いてみたいと思います。どうぞお楽しみに！

<集合写真>

2ヶ月ぶりの活動でした。



相変わらず暑いなー！



調べてみましょうね！



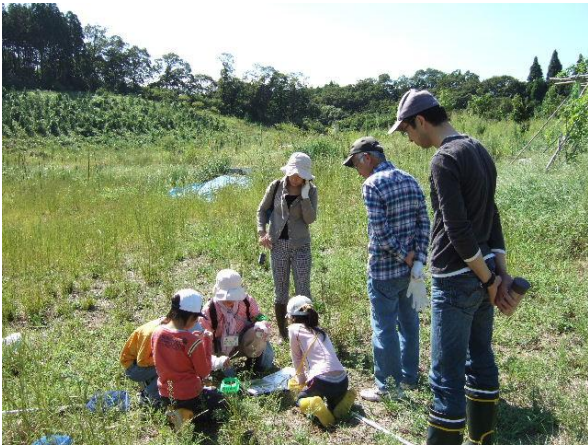
メダカ池にすむ生き物たち



生き物の特徴がよく描けています



いろいろな種類のバッタがいます。



休憩の様子



トンボは、羽をチョキにして持ちます。



これは、何て虫かな？



オニヤンマを観察しましょう。



クモの糸をさわってみよう！



ザリガニをつかんでごらん！





真っ赤なアメリカザリガニ



つかめました！　すごいなあ～。



「ザリガニクイズ」さて、正解はどれでしょう！



ザリガニ釣りに夢中です。



「ザリガニクイズ」みんな大正解でした。





すばらしい文字の標柱です。



記念植樹の標柱が、全部で4本立ちました。



ヒガンバナのブレスレットです。